

地域の将来像（地域のなりたい姿）と取組目標（実現するための取組の方向性）等一覧（案）

将来像	取 組 目 標		地域の現状・課題
第1 つながる地域の絆西播磨 ～地域でともに支え合う 繋がりのあるまち～	1	地域みんなで子育てを応援しよう <u>子どもを育てやすい就業環境や保育サービスの充実、ご近所同士の助け合いなど、</u> 家庭・学校・地域・職場などさまざまな主体が協力し、子育てを地域全体が応援する環境づくりに取り組み、誰もがここで安心して子どもを産み育てたいと思える地域をつくろう。	2 減り続ける子ども 6 地域のコミュニティ機能の低下
	2	<u>次代を担う人材を育てよう</u> ICT技術等の活用によりどこに住んでいても質の高い教育が受けられる環境づくりを進めるとともに、学校や地域、地元企業などさまざまな主体が協力し、地域ぐるみで特色ある教育を展開し、ふるさとに愛着や誇りを持つ若者を育み、生まれ育った地域を守り支える担い手を育てよう。 <u>また、豊かな自然環境を活かしたこの地ならではの体験教育などにより、その教育環境に魅力を感じ、移住先や農山漁村留学先として西播磨を選んでもらえるような地域を目指そう。</u>	2 減り続ける子ども 6 地域のコミュニティ機能の低下
	3	「地域の課題は自分たちで解決していく」という共助の意識が根付き、多様な価値観が尊重され、人と人の温かいつながりを深め、地域のコミュニティ機能を再生させ共に支え合う地域をめざそう。単独集落では解決できない課題は、近隣の集落が連携し助け合いながら解決していくことができる地域をつくろう。 また、 <u>結婚を希望している若者には、</u> 地域全体で男女の出会いや縁結びを応援する取組みを広げよう。	1 減り続ける人口 4 未婚者の増加 5 増加する小規模集落と人口の偏在化 6 地域のコミュニティ機能の低下
	4	あらゆる多様性を <u>尊重しよう</u> 多様な価値観や異なる文化を持つ人への理解と共感を深め、地域に興味を持っている外部の人や外国人など多様な人を受け入れる地域をめざそう。多様な人が地域に <u>関わり</u> 新たな担い手として活躍し、地域の持続と活性化につながっている地域をめざそう。 また、人口減少などの時代の変化に合わせて、自治会組織も運営方法を柔軟に見直そう。	5 増加する小規模集落と人口の偏在化 6 地域のコミュニティ機能の低下 7 増える外国人、多文化との共生
第2 元気な西播磨 ～地域の強みを活かした 賑わいと活力のあるまち～	5	<u>自慢したい地域の資源を守り活かそう</u> 豊かな自然や美しい町並み、魅力的な食・歴史・文化など、特色ある資源を地域に対する誇りや愛着を生む源として認識し、地域全体で守り引き継いでいく取組みを広げよう。 それらの資源の強みをさらに高め活用することで、その魅力に惹きつけられて観光客や移住者など地域外から人が集まり交流と活気を生み出す地域をめざそう。	8 地域資源を活用した交流人口・関係人口の拡大
	6	戻りたい・住み続けたい <u>地域にしよう</u> 雇用の場の確保や <u>快適な住環境整備</u> とともに、幼い頃からふるさとへの誇りや愛着を育て、 <u>若者が出て行かない地域、いったん地元を離れても戻ってきてくれる地域をめざそう。</u> また、テレワークなどデジタル技術の発達により、働く場所や住む場所の自由度が増すことで、 <u>ほどよい田舎暮らし</u> に関心のある人々を全国から呼び込むため、 <u>身近に農を楽しめる環境、豊かな自然や安全に暮らせる環境、人と人のつながりなど、みんなで西播磨暮らしの魅力を情報発信し、西播磨に関わり続けてくれる人や移住してくれる人を増やそう。</u>	1 減り続ける人口 9 若者の転出
	7	自分らしく活躍できる <u>地域をめざそう</u> 年齢や性別、障がいの有無などに関わりなく、誰もが個性と能力を発揮しながら活躍できる場があり、いつまでも生涯現役でやりがいを持って自分が希望する社会参加や働き方が見つかる地域をめざそう。 また、家庭や地域、職場において男女ともに働ける環境づくりを進め、「性別などによる役割分担意識」のない地域をめざそう。	10 多様な働き方の創出・人材の活用
	8	地域とともに成長する産業を育て <u>よう</u> 地元企業のブランド力や日本を代表する地場産業、特色ある農林水産物、豊かな森林などの地域資源を生かした産業を持続させるとともに、地域の特徴を生かした事業者や就農者等のさらなる成長を地域全体で進めよう。 また、空き店舗の活用などまちづくりと一体となった商店街の再生や創業・起業しやすい環境づくりを進め、身近な地域商業の賑わいを取り戻そう。	11 地域産業の活性化

※「地域の現状・課題」欄の番号は、資料2のⅡ「県民意見から見る西播磨地域の現状と課題」の記載番号

将来像	取 組 目 標		地域の現状・課題
<p>第3</p> <p>自立の西播磨 ～地域で循環するまち～</p>	9 自然と共生 <u>しよう</u>	<p>水と緑に恵まれた西播磨の豊かな自然環境の大切さを認識するとともに、森林・農地が持つ多面的な機能（食料や木材などの自然の恵みだけではなく、自然災害を防いだり、癒やしや学習の場など）の維持や生態系を守る取組、自然から得られる資源を地域で有効に活用するなど、自然環境を守り育てながら人と自然が共生した持続可能な地域をめざそう。</p>	12 気候変動、頻発する豪雨 13 環境保全の取組
	10 地産地消 <u>を進めよう</u>	<p>健康志向や食へのこだわりが高まる中、西播磨ならではの伝統的な食文化や食材の大切さ、食を支える農林水産業の大切さを認識し、郷土料理や地元産品を使用した地産地消をさらに進めよう。 <u>また、森林の苗木育成から伐木、建築まで木材の地産地消を進め、木材資源の地域循環を目指そう。</u></p> <p>さらに、地域全体で徹底した節電・省エネに取り組むとともに、地域の空き空間や資源を生かして再生可能エネルギー（太陽光・小水力・バイオマスなど）を生み出し、温室効果ガス排出実質ゼロのカーボンニュートラルの実現に貢献するエネルギー自給の高い地域をめざそう。 <u>西播磨全体で食や木材、エネルギーなどの自給力を高めつつ、</u>近接する他圏域とも交流を進め、さらに循環を活発化させよう。</p>	14 自給が求められる食料とエネルギー
	11 遊休資源を知恵と工夫で活か <u>そう</u>	<p>耕作放棄地や空き家、空き施設などの遊休資源や森林などの豊かな地域資源を有効活用し、地域外住民との交流や賑わいづくり、食料品・日用品販売などの生活関連サービスや再生可能エネルギーを活用した事業化等、地域内で生産と消費活動が循環する経済活動のしくみをつくるなど、持続可能で自立した地域をめざそう。</p>	15 空き家の増加 16 放棄される田畑や山林の増加
	12 <u>より輝く</u> 播磨科学公園都市 <u>をつくらう</u>	<p><u>産学住が整う科学技術と自然が調和したまちを目指すとともに、生活基盤の充実と併せ、地域内住民・企業・学校等の連携や一体感、まちへの愛着や誇りを醸成し、より魅力あるまちづくりを目指す。</u></p> <p>また、産官学の連携により SPring-8 など西播磨の誇る科学技術基盤を成長分野の技術革新や中小企業のものづくりに生かす取組をさらに進めていこう。</p> <p>さらに、新しい技術を用いた生活支援サービスの実証試験を播磨科学公園都市内で行うなど、住み慣れた地域で生活を維持していくための新たな地域モデルを構築する取組みを進めよう。</p>	11 産業の活性化
<p>第4</p> <p>安全安心の西播磨 ～誰もが安心していきいきと暮らせるまち～</p>	13 <u>いきいきと暮らせる地域をつくらう</u>	<p>ICT 機器や介護ロボットなども活用しながら、マンパワーによる見守りや日常生活支援、介護など支え合いによる安全安心のコミュニティが実現し、困った時には誰かが手を差し伸べ、弱い立場にある人を取り残さない、高齢者も障がいのある人も誰もが住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせる地域をめざそう。</p> <p>また、地域でパトロールを実施するなど、防犯意識や交通安全意識を高め、家庭や学校、地域が連携して犯罪や事故などのない安全な地域をめざそう。</p>	3 人口の高齢化と伸びる寿命 17 増える高齢者世帯
	14 <u>移動に困らない地域をめざそう</u>	<p>道路や鉄道などこれまで整備されてきた社会基盤の維持と活用を図りながら、交通手段の利便性向上や道路ネットワークの整備、将来に向けた自動運転の基盤整備を行うとともに、移動が困難な人に対する支援も充実し、買い物や通院などどこへでも移動でき、交通事故もない誰もが安心して外出できる地域をめざそう。</p> <p><u>また、地域の足である公共交通機関の維持や利便性向上のため、姫新線をはじめとする鉄道やバスなどの利用促進に取組み、公共交通機関を地域全体で守っていく運動を展開しよう。</u></p>	18 買い物・交通等生活基盤の確保
	15 <u>健康・福祉が充実した地域をめざそう</u>	<p>誰もが健康で元気に活躍でき、安心して暮らし続けられる地域の実現に向け、一人ひとりが日頃から健康づくりの意識を高めよう。</p> <p><u>また、関係機関とも連携した医師の確保や</u>地域医療体制の充実に取組み、誰もが住み慣れた地域で適切な医療・介護サービスが受けられる地域をめざそう。</p>	19 医療・介護体制の確保
	16 <u>防災力を高めよう</u>	<p>地震、津波、豪雨等の自然災害に強い社会基盤を整備するとともに、一人ひとりが防災についての高い意識を持ちながら、共助による地域防災力を高め、災害に強い安全安心な地域をつくらう。</p>	20 災害に対する備え

※「地域の現状・課題」欄の番号は、資料2のII「県民意見から見る西播磨地域の現状と課題」の記載番号